

Open Source Congress 2024

Open Source Congressは、オピニオンリーダー、実務家、コミュニティリーダーが一堂に会し、**オープンソース技術の未来を切り開く**ための年次集会です。



OpenHarmonyやOpenEulerに代表されるオープンソースへの中国の貢献は、**グローバルなコラボレーションやデジタル主権を強化する**という中国のコミットメントの象徴です。



世界各国政府からの規制圧力は、**コミュニティ主導の積極的な政策提言**が必要であることを物語っています。



オープンソースAIにより、強力なAIツールへのアクセスが民主化され、世界中の開発者、研究者、企業が既存のモデルを実験、共有、改良できるようになりました。

責任あるAIは、多様なデータセットでAIシステムの訓練がされており、**倫理、安全性、透明性**を付加的な要素としてではなく、最初から**AIモデルに組み込む**必要があります。



オープンソースソフトウェアのコピキタス化により、**サイバーセキュリティ**は、世界のグローバル デジタルインフラの**安全性、信頼性、信憑性を確保する上でますます重要**になっています。



総会では、適切な制限や基準、実績の追跡、高品質なトレーニングデータの共有リポジトリなど、**AI特有のセキュリティフレームワーク**の必要性に焦点が当たりました。



オープンソースは、ブロックチェーンのような**分散型テクノロジー**を支える原動力であり、ユーザーは自分のデータ、資産、アイデンティティ、デジタル インタラクションをコントロールすることができます。



オープンソース ソフトウェアやオープン データのような**デジタル公共財**は、教育、医療、気候変動におけるグローバルでの発展のために不可欠なツールとなっています。



総会の参加者は、サイバーセキュリティ、サステナビリティ、コンプライアンスといったエコシステムの課題に取り組むためには、**継続的な対話と協力**が不可欠であることに賛同しました。



オープンソース コラボレーションを強化するための提案として、年次総会の継続、ピアツーピアの人脈形成、グローバル事務局の設置などが挙げられました。



Open Source Congressは、ポジション ペーパーの作成、参加者の拡大、ブリュッセルでの2025年イベントの計画など、**コラボレーションのために一年を通して活動するプラットフォームへと進化**しています。